

ぬくもり

発行元 可児市人権啓発センター
 可児市下恵土5186-1
 (可児市総合会館分室内)
 電話 (0574) 83-7990
 FAX (0574) 83-7990

＝可児市人権啓発センターだより＝



街頭啓発活動当日 会長(可児市長)の挨拶を聞く
 人権啓発センターの役員と推進員の皆さん(平成11年12月8日)

昨年を振り返って

推進員 今井隆司

人権は、空気や水のようなものと言われております。あなたは、どんな感想をお持ちですか。

▼昨年の暮れ、人権週間の行事として市内の大型店舗三ヶ所で街頭啓発活動を行いました。不景気な世相を反映して買い物客も喜々とした笑顔は余りなかったようです。

▼新聞・テレビでも暗いニュースばかり。生きていることの大切さ、勇気を与えてくれるような活気にあふれた紙面を拝見したいものです。

▼今年は、二十一世紀の始まり。希望に満ちた人間が活き活きと暮らせるような世の中になってほしいと願っています。

▼人が人として尊重される世の中であってほしいと思います。

子ども、お年寄り、ハンディを背負っている方、外国の方など、弱い立場にいる人のことを考え、周りの健康者が温かく思いやりの気持ちで接すること。これが人権を理解する一歩と考えます。

あなたは、いかがお考えですか。

人権の世紀を 目前にして

彼らが豊かに個性を発揮し、感性を磨き、創造力を培い、主体的に行動できる環境（世界）を作り上げる責務は、私たち大人にあると考えます。

そこで、第3回「ぬくもり懇話会」のテーマを「地域に生きる子ども達に期待すること」とし、識者にお集まり願ってお話し合いをして頂きました。以下はその要旨です。



人・深谷さん・谷貝さん・司会（渡辺）

懇話会

すること

於 可児市総合会館分室

おはようございます。

ぬくもり懇話会におこしくださいまして、ありがとうございます。

今回のテーマは「地域に生きる子ども達に期待すること」です。

谷貝先生、お願いします。

谷貝 夏・冬の休みに校外巡回しますが、野外で遊ぶ子どもに出会えないことが気になっていきます。

深谷 交通指導をしています。先日、子ども達から「おばさん、鬼ごっこして遊ばない！」と呼ばかけられ、久しぶりに子ども心に返って遊びました。子どもが好きになれるって、とても大切なことだと思います。

楢生 アドバイザーとして中学校を訪れることがあります

が、地域の活動に中学生の力を借りたら……と考えるきっかけがあるところだと思います。

山口 幼児虐待が非常に多い。

子どもの人権擁護問題として許せないことです。

鈴木 子ども会の活動を支援しています

が、子ども側の問題よりも大人側に考えなければならぬ課題が多いのではないかと思います。結果の善し悪しではなく、ゆとりと子どもと対座して取り組む心掛けが大切だと思います。

司会 これまでの話し合いも含めて意見交換して下さい。

楢生 谷貝先生、小学生の公民館祭り参加は可能でしょうか。

谷貝 高学年ならばいいでしょうね。中学生の姿を見習うということでは大変良い体験学習が期待できます。

大切な地域活動

山口 「地域の子は地域で育てる」機運も高まりつつある

ことはうれしいことですが悲しいかな現状は子育てのほとんどを学校におんぶしているのではないのでしょうか。

司会 子どもへの関心をどう高めるか大きな課題ですね。

山口 野外で遊ぶ子どもの姿が見られないということでの提案をしたいのです。

山と川を子ども達に開放するということですね。山と川を子ども達に開放するということですね。山と川を子ども達に開放するということですね。山と川を子ども達に開放するということですね。

鈴木 親さんの多様な考え方で地域活動が十全に展開できないことがあります。

司会 子育てに一つの願いを持って会活動をして多様な考え方に押しやられて壁にぶち当たってしまったては寂しいですね。

楢生 利己主義的な考え方の強



出席者

谷貝 眞さん (広見小学校生徒指導主事)
 深谷 郁代さん (市交通指導員)
 梶生 順子さん (市青少年育成アドバイザー)
 鈴木 圭子さん (市子ども会育成協議会会長)
 山口 博司さん (市人権擁護委員 子どもの人権専門委員)

司会

渡辺 幸男 (人権啓発センター事務局長)



写真右より山口さん・鈴木さん・梶生さん

ぬくもり

21世紀に生きる
子等に期待

平成12年1月12日



い環境では、協力も期待できな
きないことが多いのです。
 鈴木 役員の係がまわってくるとやめてしまふということもあり
ます。
 司会 問題意識の持ち方ですね。教育現場から見た親ということ
で疑問に思われることがありま
したら……どうぞ。
 谷貝 ありますね。問題行動を起
こした子の親さんに事の次第をお
話し、共に悩んで善導しようと
しても「あ、そうですか。」の一言で済
まされてしまふ。親としてのあ
るべき姿を見せることの

できない親さんがおられま
すね。



挨拶のじかん

司会 体験に裏打ちされた貴重
なお話をして頂き、ありが
とございました。

ここでテーマに掲げまし
た「地域に生きる子ども達
に期待すること」をご提言
頂きたいと思えます。

鈴木 挨拶ができること。挨拶
はお互いの存在を認め合う
証だと考えています。

深谷 今の子は元気がない、目
に輝きがない。ですから、
登校して来る正・副分団長
には、えらさがわかってい
るので、努めてほめてやっ
ています。遅れて来る子に
は、「食事をしてきた？」と
声をかけています。元氣
づけ、景気づけは大切なこ
とだと思っています。

「時流」を「自流」に

谷貝 今の子は「時流」。つま
り、生きる目的のない子が
多い。ですから、自分で生
きる流れを作っていける子、
つまり「自流」を期待しま
す。

ちっぽけなこころ。
自分で選んだことを最後ま
で全つする強い子を育てた
い。私の卒業生の中に、三
年間美術室の戸締まりを最
後まで頑張り通した子がい
ました。

山口 弱者を助ける心が希薄に
なってきた。一つでい
いから世の中に貢献できる
ことをやって欲しい。

梶生 敬う心、言い換えれば、
思いやりの心・やさしさ・
明るさを期待します。

司会 長時間にわたりお話し合
いをして頂き誠にありがと
うございました。



人権週間

公募作品の紹介

【標語の部】

岡崎沙耶さん (小二)

臯ヶ丘四一―二七

○「おはよう」は

きょう一日のはじまりさ

奥村照之様

今渡三四九一―

○手と手と手

皆でつないで 大きな輪

○気を付けて

その一言が 剣になる

○雨や風

自然は人を 選ばない

○良い点も

見つけてあげてお互いに

○バリアオフ

心のバリア 張らないで



井上菊子様 広眺ヶ丘一―三三

○人権は一人一人の思いやり

差別をなくそう明るい社会

○小さい頃から学ばせて

差別を無くそう この世界

井川利男様 長坂七―一七三

○いじめ無視

今から止める 強い意志

○差別の芽

みんなで摘もう

温かい手で

○通せんぼ してませんか

人の道

【ポスターの部】

岡崎沙耶さん (小二)

臯ヶ丘四一―二七

【声の部】

川手靖猛様

羽生ヶ丘一―一五

日比野則幸様

臯ヶ丘九一―二〇九

日比野銘子様

臯ヶ丘九一―二〇九



声・声・声

「国は法に依って昌え、法は人に因って貴とし」という格言があるが、最近のメディア報道をみて考えさせられる事がある。それは甲山事件に対してのマスコミの反応の悪さである。二十一年間の裁判で無罪確定した事に対しての報道が少なく九月二十九日の夕刊では一面トップだが三十日の朝刊ではほとんど記事がなかった。テレビは二く三分伝えただけで特集を組む事もなかった。何がいけなく、どうしてこの様になったのかの批評がない。毎日新聞のみが十月五日に検証記事を書いただけであった。最近のメディアはそれもやらなくなった。この元保母の山田悦子さんの人間の権利は。けっして結果論のみではないはず、何故この様になったのかの責任が見えない限り権利は守られない。声を上げなければ。世間の退廃の根にある心の無感性を悲しんでいられないが。

(羽生ヶ丘 川手靖猛)

同和問題研修会 (1/18)

「心したい日常の同和的差別観」について熱心な研修会が持たれました。中でもグループの意見交流は白熱し、関心の高さを物語っていました。

期せずして、前日 (1/17) は人種差別と戦った黒人指導者、故キング牧師の誕生日でした。

― 広陵中の家庭教育学級で開催 ―

編集後記

年改まって、二〇〇〇年。

みなさん、いかがお過ごしですか。

▽この頃、思うことですが：

◇人権の前に、人道を考

える必要があるのでは…と。

▽昨年の暮れ、人権週間でポ

スターなど公募しました。小

学生の岡崎さんが「あいさつ

は自分から」のポスターを応

募。これも、人道の大切さ

を訴えたものだと思います。

▽応募されたみなさん、あり

がとうございました。

|| 今年も「ぬくもり」を育てて下さい。 ||